

# 平成23年度 学校評価

尼崎市立城内高等学校

校訓「自律・協力・創生」の精神のもと、人間としての基礎・基本の定着を図るとともに、激しく変化する社会の中でこころ豊かにたくましく生きる力を培う。魅力ある定時制高等学校の在り方を

研究する。地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。特色ある学校づくりを推進する。(学習指導・特別活動・生徒指導・進路指導の充実)

## 学校教育に関する重点取組

### 1 学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 詳細な学力分析とそれに基づく実践	2.9	授業研究に関しては、テーマを絞った形で実施したい。生徒による授業評価を参考にして、必要があれば委員会を開き改善に向け議論する。生徒の実態に応じた新教育課程の研究をする。総合的な学習の時間では、教科の枠を超えた生徒の興味・関心を満足させることのできる講座内容を研究する。	カリキュラム委員会での少人数習熟度別授業を展開するなど、生徒の学力伸長を図った。また、隣接する明城小学校と授業研究の連携を進めた。今年度着任者によるビデオによる授業研究を2回に渡り開き、個々の授業力向上を図った。特別支援が必要な生徒に関し、委員会を開催し教員全体での情報共有化を目指した。	3	評価の在り方について教科を越えた整備をする。そして、学力的に相当厳しい生徒への工夫をする。現在の授業研究に関して在り方そのものを検討する。特別支援に関しては対症療法的活動にとどまらず、積極的な取り組みをしていく。
(2) 滑らかな成長につながる校種間の連携	3.5				
(3) 家庭学習の習慣化	3.1				
(4) 教員の指導力の向上	3				
(5) ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	2.8				

### 2 心の安定を図るとともに、規範意識を育み良好な人間関係づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 命の大切さを中心とした道徳性の涵養とよりよい人間関係の構築	2.8	生きる力、学ぶ力を育成し、人間尊重の精神を養成。障害者への理解と支援、差別を許さない人間としての実践力を身につけるなど人権に関するあらゆる観点から人権教育に取り組む。カウンセラー派遣、心療内科医や相談課への教育相談等、必要に応じて利用、連携を図る。	人権教育研修として、外部講師を招いての性教育講演会とDVDによる聴覚障害に関する全校生対象の研修会を開催し、生徒の心の成長を育んだ。また、個人面談、三者面談、家庭訪問等を通して生徒の内面理解に努めた。日頃から生徒に関する情報を共有するよう学年と教科との連携を進めた。進路指導に関しては、進路先を求めただけでなく社会的な義務や自己の適性等を見つめるキャリア教育に取り組んだ。	3	生徒に直接関わる問題、障害者に関する内容のもの(福祉)など、幅広い観点から人権学習を、外部講師による講演会、本校教諭による講演会、DVDによる学習など現状に応じた内容で実施していきたい。派遣カウンセラーによる職員研修、教員の研修を年1~2回実施する。研修会以外にも企画する。生徒と教師が落ち着いてコミュニケーションがとれる場所を確保する。
(2) 基本的生活習慣の確立と情報モラル等の指導の充実	3.0				
(3) 相談体制と長欠者の指導の充実	3.1				
(4) 進路指導の充実	2.9				

### 3 健康の増進と体力の向上を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 望ましい生活習慣の育成	3.1	生徒の生活状況等を把握し個々に対してきめ細かい対応をしていく。2学期に行う給食アンケートの結果を生徒に返し、生活習慣の改善指導に生かす。また、校医による講演(禁煙指導、食育等)を実施し、性教育・感染症予防等については随時個人・全体指導をきめ細かく行う。	給食を通じての食育教育に取り組んだ。また、保健体育の授業で健康の大切さと生涯にわたる運動に取り組む姿勢を身につけさせた。	3	給食便りによる食育指導に取り組む。また、学校医による食育指導も計画する。生徒の生活実態調査の質問項目を検討し、生徒の生活習慣場の問題点を掌握する。
(2) 健康の増進と体力の向上	3				

### 4 保護者や地域に信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 登下校の安全確保の取組の充実と校内の安全	3.1	東日本大震災から、地域の特性に起因する災害に対応できる力を身につけさせるために年に2回実施する避難訓練等に工夫をしたい。また、教育環境の整備に努めたい。さらに、震災追悼行事では、追悼の気持ちから他者への思いやりの心を育む。 前年度行ったことを継続的に進めていく中で、学校情報をさらに積極的に発信するためのHP以外の手段の工夫に取り組む。また、中学校との情報交流にも取り組みたい。2回実施するオープンハイスクールで楽しい魅力ある城内高校をアピールする。	施設の不備を速やかに修繕する体制を築いた。下校指導を行い生徒の安全に地域警察と連携の上取り組んだ。生徒によるHR・授業評価に取り組み教員の指導力向上を目指した。HPの充実を図りこまめな更新を心がけたが、古い資料残っていた。校外での研修に積極的に参加することを勧めた。	4	震災の教訓から命の尊さを学ぶことに積極的に取り組む。防災教育の全般的な見直しを進める。
(2) 学校評価の充実	3				
(3) 開かれた学校園づくりの推進	3.2				
(4) 教職員の自己研鑽	3.2				

教育目標

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)教育目標の達成に向けた教育活動の展開	3	校訓「自律・協力・創生」の精神のもと、学校生活を通して人間としての基礎・基本の定着を図るとともに、激しく変化する社会の中でこころ豊かにたくましく生きる力の育成をめざす。 1 人間としての基礎・基本の定着を図る。 2 こころ豊かにたくましく生きる生徒の育成。	学力向上に関する生徒アンケートの結果は昨年より後退している。再度、教材・指導方法の見直しが必要である。心の成長を目指し、体験活動を積極的に学校活動に取り組むことが必要である。	2	職員全員で挨拶をはじめとするマナー指導に取り組んでいく。さらに、体験活動にも積極的に取り組む。
(2)教育目標の具現化と指導の充実	2.8				

研究テーマ

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)研究テーマにの達成に向けた充実した教育活動の展開	2.8	生徒の能力、適性、進路に対応する教育課程のあり方、生徒指導の研究および効果的な授業法の研究を目指した授業研究を推進する。 1 総合的な学習の時間の充実・深化。キャリア教育との融合。 2 これからの定時制が目指すべき教育課程の研究。 3 基礎学力定着を目指したモジュール授業の研究。	市内定時制統合に関して、これからの定時制普通科の目指す教育課程作成に取り組んだ。職員全員が閲覧できる職員室内共有フォルダーに会議の内容を毎回UPし、学校全体で取り組めるようにした。モジュール授業での効果を漢検受検することで確認した。次年度は参加者を増やしたい。	2	市立統合に関する説明をできるだけ詳しく行う。また、校外への情報発信も検討する。モジュール授業に関して漢検・数検へのさらに積極的な参加を促す。